



平成29年7月24日

各 位

会社名 株式会社 小野 測 器
代表者名 代表取締役社長 安井 哲夫
(コード番号6858 東証第一部)
問合せ先 取締役財務経理ブロック長 濱田 仁
(TEL. 045-476-9706)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年1月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成29年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株式に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	340	360	220	19.31
今回修正予想(B)	6,550	45	65	30	2.63
増減額(B-A)	50	▲295	▲295	▲190	—
増減率(%)	0.8	▲86.8	▲81.9	▲86.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年12月期第2四半期)	7,573	613	615	379	32.04

平成29年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,600	370	400	240	21.06
今回修正予想(B)	12,100	75	105	50	4.39
増減額(B-A)	▲500	▲295	▲295	▲190	—
増減率(%)	▲4.0	▲79.7	▲73.8	▲79.2	—
(ご参考)前期実績 (平成28年12月期)	13,133	361	397	235	20.22

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、収益性の良い計測機器が伸び悩んだものの、特注試験装置において売上は予想を若干上回ることができました。その結果、売上高は予想数値を上回りましたが、売上総利益は予想を下回りました。また平成29年1月より稼働を開始した新情報システムの安定稼働に向けた費用の増加および研究開発を前倒して進めたことなどにより、販売費及び一般管理費が予想を上回り、大幅な減益となる見込みであります。

通期業績につきましては、受注高は特注試験装置において回復傾向となり前期比で増加となっております。しかし、現在保有している受注残の中で、当連結累計期間内に顧客指定納期を迎える案件が少ないこと、また特注試験装置においては受注から売上に至る期間が長期に及ぶため、今後の新規受注から当期売上となる案件は限られており、特注試験装置の売上高は減少することが予想されます。一方、計測機器においては、受注から売り上げに至る期間が短く、足元の案件も増加していることから回復を期しておりますが、特注試験装置の減少を補うには至りません。費用面におきましては、新情報システムは安定稼働となっており、今後は多額の支出は見込まれておりませんが、売上高が減少する中では、利益予想の達成は困難であることから、通期連結業績予想につきましても修正することと致しました。

今後につきましては、新規受注の獲得に注力するとともに、計測機器の販売強化、業務の効率化とコストダウンを推進し、予想の達成に注力してまいります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上